



ハッピーテラス通信

令和5年8月号

ハッピーテラスキッズ柏ルーム

04-7193-8205

1 お知らせ

アンケートのご協力、誠にありがとうございました。
結果は後日開示させていただきます。

2 職員からの推薦図書

題名 おべんとう (しかけ絵本)
著者名 きのした けい
参考価格 1210円
推薦者 鈴木 絢 (中野ルーム)



お弁当がテーマの絵本になっています。
料理にまつわるオノマトペをおまごど感覚で楽しむことができる一冊です。
リズムに乗ってお弁当が完成していく様子を楽しんでみてください！

3 8月の追加ご利用可能日程

(記号：○・・・空きがございます △・・・若干名の空きがございます)

日付	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
曜日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
10:00						X					X		X	X	X
11:15						X					X		X	X	X
13:00						X					X		X	X	X
14:45						X					X		X	X	X
16:00						X					X		X	X	X

日付	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
曜日	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
10:00					X		△				X		○			
11:15		△			X						X					
13:00					X		△				X					
14:45					X						X					△
16:00			△		X						X		△			

4 療育コラム 「枠組み構築の練習について 自由研究を題材に」

今回は、夏休み期間真っ只中！という事も加味して、夏休みの宿題の一つである自由研究を題材に、枠組みの無い所に枠組みを設定することについてのお話をしていきたいと思います。

早速ですが、皆様は学生時代に自由研究に取り組まれた事はありますでしょうか？

私は学生時代、この自由研究というものが、とても苦手でした。

時を経ておじさんになった今、何故苦手だったのかを振り返ってみると、やる事が明確に定まっていないため、何をしたら良いかが分からない事が、大きな要因であると感じます。

この事について、別の表現をすると【思考が固い】と表現できるように思います。

問題に絶対的な正解があったり、何かに取り組む際、大体こういう感じ、という見本が無いと難しい、という学生時代の私タイプの人にとっては、この自由研究という、やろうと思えばどこまでも果てしなく広げる事のできる自由度の高い課題は難しいのでは無いかと思います。

【自由】研究という名前なのに不自由を感じるには皮肉なものですね…

しかし、逆に自由研究が得意、と言う思考が柔軟な人からすると、自由なのに何をそんなに悩む事があるのか、と思われる事でしょう。

おじさんになった私も、当時の自分に「自由だよ？大体何やっても大丈夫なんだよ？悩まずにやってみようぜ！」と言ってあげたいです。

ところが、言われた所で当時の私は思うでしょう。

「いや、自由が難しいんだって。おじさんが大人になった俺なんだったらよく分かるでしょ？」と。

まあ、正直当時の私の言う事も、とても良く分かるのですが、おじさんの私はその段階を既に超えているわけで、説明ができるわけです。

おじさんの私は自由研究における【自由】の意味と、その範囲を伝えると思います。

自由の一般的な意味は、ざっくり言うと、【何をしても良い】ということ。

しかしながら人間という生き物は、自由を与えられても言葉の意味ほど自由というわけではありません。

なので、自由研究が示すところの【自由】は、どこまでの範囲で自由なのかを伝えます。

この作業こそが、枠組みの無いところに枠組みを構築するイメージです。

ともあれ、枠組みは大きく1つ、他者に迷惑をかけない事。

基本的にこれだけです。

思い付いた内容が、この条件を満たしているかを考えて、人手や資金が必要なら然るべき所に相談し、承諾を得て、問題が無いようなら実行する。

友達や兄弟との共同研究などにするのも良い手だと思います。何故なら一つの研究で各々が宿題を終わらせる事ができます。

加えて、一緒に取り組む人がいると1人でやるよりも様々な意見が出て研究が深まるし、何より継続がし易いように思います。

最後に1番重要な事を1つだけ。

研究の末、思うような結果が得られなかった場合、「失敗だ、もう今からやり直す時間が無い…」と絶望するお子様もいるようですが、大丈夫です。

そもそも研究、というものは仮説を立てて、本当にその結果になるかどうかを吟味するために行うものであり、仮説とは違ってこういう結果が出ました。それに関してはこんな理由からだと思うよ、ということをまとめて記載したら何の問題も無いのです。

寧ろ、結果が仮説立てした内容と違ったらチャンスかもしれません。

何故ならば、来年新しい仮説を立てて、それを再度研究し、まとめるという手法を使えるからです。その場合、来年までに、日々の生活の中で研究のネタを集めておくと、より良い研究になるかもしれませんね。

さて、今回の枠組みの構築についてのお話はいかがでしたでしょうか？

枠組みの無い事の中に枠組みを持ち込む事は苦手な人にとっては難しいため、細分化を手伝う形で支援し、取り組みやすくカスタマイズすることはひじょうに効果的であるように感じます。

それでは、また次回のコラムでお会いしましょう。